

□ 要請番号 (JL61821A08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	A101 コミュニティ開発	20～45歳のみ	個別	交替3代目	2年	・ 2022/1 ・ 2022/2 ・ 2022/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業・畜産・水産省

2) 配属機関名 (日本語)

アンチラベ農業機械製造・研修センター

3) 任地 (ヴァタナカラ県アンチラベ郡アンチラベ市) JICA事務所の所在地 (アンタナナリヴ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、農機・農器具の開発や製造、それらの普及促進事業、農業機械にかかる高等教育を行っている機関で、2009年に日本の無償資金協力によって、施設の拡張及び機材の整備がなされた。また2020年より実施中のJICA技術協力プロジェクト「コメセクター生産性向上及び産業化促進支援プロジェクト(PAPRIZ)」の実施機関の一つである。同配属先にはこれまでにJICA海外協力隊員2名(職種はいずれもコミュニティ開発)が派遣された。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

中央高地に位置する同市は、肥沃な土地と気候に恵まれた国内屈指の農業地帯で稲作、野菜栽培、果樹栽培が行われており、人口の約9割程度が農業従事者である。その様な状況下、配属先はコメ及びその他の作物の生産性向上を目指した農業機械化を促進すべく、除草機、脱穀機、唐箕などの手動式農器具の開発・製造、及び、その利用や販売促進事業を行っている。前任隊員は、農機製造職人に向けた販売促進支援や講習会の開催、アンケートによる市場調査、広報活動を行いながら、農機・農器具の導入を農家関係者に呼び掛けた。しかし、未だ農機・農機具の普及は十分と言えないため、これらの更なる普及を目指し、農機・農機具製造職人や農民へ啓発を行っていく必要があり、後任要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先関係者、PAPRIZプロジェクト関係者と協力し、農機・農機具の導入によるコメ及びその他の作物の生産性向上を目指し下記の活動を行う。

1. 農機・農機具の普及が十分でない、原因や農民の考え方を調査し把握する
2. 農機・農機具製造職人に対して、販売戦略や商品の品質向上にかかる支援や啓発を行う。
3. 市場調査を行いながら、配属先が製造する農器具の販路拡大、販売促進、品質管理(チェック体制強化)等を支援する。
4. 配属先が開発・製造を行っている手動式農機具のデモンストレーションやワークショップなどを開催し、それらの利用の促進・普及を支援する。

※品質向上や、業務効率化の一環として、作業場や職場の簡単な整理整頓(5S)を指導できるとなおよい。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先内工場で製造されている各種手動式農器具(除草機、脱穀機、唐箕など)。その他、トラクターなどモーター付き農業機械および建設機械。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:施設長(男性、60代)、マーケティング課長(男性、30代)

活動対象者:農機具製造職人、農民

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：活動対象者の多くが男性のため [経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・ワークショップやイベント等の企画運営経験
- ・営業や販促、商品開発の経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（1～30℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

【特記事項】